

## 第 101 回女川原子力発電所環境調査測定技術会会議録

開催日時：平成 18 年 2 月 3 日 午後 1 時 30 分から

開催場所：県庁 第一会議室

出席委員数：18 人

会議内容：

### 1 開会

司会： ただ今から、第 101 回女川原子力発電所環境調査測定技術会を開催いたします。

司会： 会議に先立ちまして、本会議には委員数 28 名のところ、18 名の御出席をいただいておりますので、本会は有効に成立しておりますことを報告いたします。

司会： 開会にあたり、当技術会の副会長である宮城県環境生活部・橋次長からあいさつを申し上げます。

### 2 あいさつ

(・橋次長あいさつ)

### 3 新委員の紹介

司会： ここで、本技術会に今回よりお入り頂いた委員を御紹介いたします。

東北大学金属材料研究所の山村朝雄委員です。

東北電力株式会社原子力部原子力運営課長の櫻庭達幸委員です。

以上でございます。

司会： それでは、・橋副会長に議長をお願いし、会議に入らせていただきます。

### 4 議事

議長： それでは、次第に基づき議事に入ります。

評価事項の「イ」平成 17 年度第 3 四半期の「環境放射能調査結果」について説明願います。

#### (1) 評価事項

イ 女川原子力発電所環境放射能調査結果(平成 17 年度第 3 四半期報告)について

(佐藤委員から平成 17 年度第 3 四半期の環境放射能調査結果について説明)

議長： ただいまの説明につきまして御意見、御質問等がありましたらお願いいたします。

岩崎委員： 77 頁のモニタリングポストの測定結果ですが、12 月の結果のモニタリングポストの 4, 5, 6, 特に 6 番について、標準偏差が高いように見えますが、これについて特別何か異常とかはないのでしょうか。

和田委員： もう一度検討してみますが、特に異常は認められてはおりません。

岩崎委員： 銀の Ag-108m についてですが、過去のデータでは気仙沼で平成 2 年に検出され、その後平成 17 年まで検出されなかったということですが、これはモニタリングによる試料でしょうか、それとも特別に研究用とか別に測ったものなのでしょうか。

事務局： これは通常のモニタリングといいますか、通常のルーチン測定で行っております。灰の量に換算しまして、通常 45 グラムぐらい使っております、生換算しますと多分 2 キロぐらい相当になりますけれども、そのぐらいの試料の量を使いまして、ゲルマニウム検出器で約 8 万秒、約 1 日弱ですけれども、そのような測定条件下で行っております。その結果、このように平成 2 年の気仙沼を最後にしばらく検出されていなかったということでもあります。この気仙沼の例に限らず、珍しい核種ですので、その成因とか挙動とかがどうなっているのかについて、いろいろ研究をしていたのですが、非常に長時間かけて測りますと、これよりは低い値ですけれども、若干は検出されます。

岩崎委員： 長時間測定すると出ることもあるということですね。

事務局： 長時間測定すれば、若干は検出されることがあります。

岩崎委員： そうしますと。今回の件は、たまたま検出限界を超えたという理解でよろしいですか。

事務局： そのように考えております。

議長： 他に御意見、御質問はございませんか。

ないようでしたら、次の議題、平成 17 年度第 3 四半期の「温排水調査結果」について説明願います。

ロ 女川原子力発電所温排水調査結果(平成 17 年度第 3 四半期報告)について

(五十嵐委員から平成 17 年度第 3 四半期の温排水調査結果について説明)

議長： ただ今の説明につきまして、御意見、御質問がございましたらお伺いいたします。

(なし)

議長： 御意見、御質問はございませんか。

ないようですので、平成 17 年 10 月から 12 月までの「環境放射能調査結果」と「温排水調査結果」の評価につきまして、本日の技術会で御了承をいただいたものとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

議長： それでは、これをもって御評価をいただいたものといたします。

次に、報告事項に移ります。

報告事項「イ」の「女川原子力発電所の状況について」説明願います。

## (2) 報告事項

イ 女川原子力発電所の状況について

(横式委員から女川原子力発電所の状況について説明)

議長： ただ今の説明につきまして、御意見、御質問がございましたらお伺いいたします。

岩崎委員： 何点かお聞きしたいのですけれども、まず 2 ページ目の(c)のガスケットの件ですけれども、説明のとおりたまにしか動かない安全弁ですけれども、安全弁は非常に重要な機器ですので、万が一これが固着したとか、そういう事態になりますと、機器にとって非常に危険ですので、再発防止を徹底し、くれぐれも起こらないようにお願いしたいと思います。

それと、次のページのハフニウム制御棒ですけれども、これは女川では起こっていないという報告で安心しているわけですけれども、やはり同じ種類のものを使っていると思いますので、特に制御棒については、炉心、原子炉の安全性の骨格でありますので、原因がわかりましたら、報告、説明をいただきたいと思いますので、よろしくお伺いいたします。

それと、前に戻りまして、2 ページ目の(a)のところ、これは文書上の問題なのですが、「偶発的に発生したものと推定しています」というのはちょっと言葉として足りないと思います。例えば 1 万本に 1 本程度発生している偶発性なのか、2 本に 1 本発生している偶発性なのか、そういう頻度を書き添えていただくことがまず必要であるのと、故障については偶発というよりもっと適切な言葉があると思います。ちょっと思い浮かばないのですけれども、ピンホールは製造上はやむを得ないもの、ある確率で発生するものとは理解しているわけですけれども、やはり偶発的というふうに書かれると、頭をひねりたくなりますので、少し検討していただきたいと思います。

最後ですけれども、最後に説明のありました、1 号機放水口の問題ですが、今回の女川の報告書でも欠測になっておりましたし、懸案事項のようなところがありまして、心配しておりました。先ほど土木工事を含む検討をされているということをお聞きしましたが、放水口というのは、直接放射線、放射能の量をはかるのに適切な場所ですので、費用とかいろいろ大変かと思いますが、くれぐれも早目に処置をしていただいて、欠測ができるだけ少なくなるよう配慮していただきたいと思います。よろしくお伺いします。

横式委員： ガスケットのことにつきましては、本当に申し訳ないと思っております。こちらにつきましては、再発防止に努めたいと考えておりますので、よろしくお伺いいたします。

それから、ハフニウム制御棒についてですが、こちらにつきましては、我々のところでは今までのところひびとかは発生していないのですけれども、一日も早く原因の究明をしてもらいたいと思っております。皆様方にもご説明できるようにしたいと思っております。

偶発的というお話につきましては、確かに、表現が不適切な部分もございますので、今後はもう少しわ

かりやすい形で、適切な表現にしたいと考えております。

放水口の問題につきましては、再重点事項の一つとして取り組んでおり、頑張らせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

議長： ハフニウムについては、東京電力の事例で原因がわかりましたら、東北電力から次回にでも報告をしていただくということによろしいでしょうか。

議長： 他に御意見、御質問はございませんか。

ないようですので、次の報告事項に移ります。

報告事項「ロ」の「女川原子力発電所における宮城県沖の地震時に取得されたデータの分析・評価及び耐震安全性評価に係る報告について」説明願ひします。

ロ 女川原子力発電所における宮城県沖の地震時に取得されたデータの分析・評価及び耐震安全性評価に係る報告について

(東北電力から「女川原子力発電所における宮城県沖の地震時に取得されたデータの分析・評価及び耐震安全性評価に係る報告について」説明)

議長： ただ今の説明につきまして、御意見、御質問がございましたらお伺ひいたします。

議長： ないようですので、次の報告事項に移ります。

報告事項「ハ」の「原子力防災緊急被ばく医療活動マニュアル(案)について」説明願ひします。

ハ 原子力防災緊急被ばく医療活動マニュアル(案)について

(・橋委員から女川原子力発電所の状況について説明)

議長： ただ今の説明につきまして、御意見、御質問がございましたらお伺ひいたします。

木村(利)委員： この場をかりてお願ひをしておきたいと思ひます。

過日行われました17年度の防災訓練の実施結果検討会でもお話ししたのですが、一つは、(3)の各段階ごとの手順の明記、これは当然のことだと思うのですが、よく話の中で、住民避難は各自治体でやってくださいというようなことが時々出てまいります。そういう中で、当然避難所には救護所も必要になるわけであり、やはり一体感がないと、スムーズにいくのかなというような不安を抱える部分がございます。この(3)手順の明記はいいのですが、これの実施といいますか、この部分だけでもいいですから訓練を行うべきではないかと思ひますので、その点、我々自治体の人間も含めながら検討していただければ幸いだと思ひます。

それから、(5)の安定ヨウ素剤の予防服用、これについても住民等々におかれましては、排気筒から放射性物質が放出された際、安定ヨウ素剤を服用すれば大丈夫なんだという間違った考えを持っている方が7割、8割方いるのではないかと思ひます。我々も最大限努力はしますけれども、このようなマニュアルにもその辺を明記していただければ、我々自治体として非常に助かると思ひますので、その点のご配慮をよろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。

・橋委員： これにつきましては、地元の自治体の考えも聞きながら反映してまいりたいと考えております。

議長： 他に御意見、御質問はございませんか。

なければ、他に報告する事項などありましたらお願ひします。

(なし)

議長： 他にないようですので、報告事項を終了といたします。その他の事項として、事務局から何かありますか。

## 5 次回開催

事務局： 次回の技術会の開催日を、決めさせていただきます。3か月後の平成18年5月12日の金曜日、仙台市内で開催とさせていただきますと存じます。

議長： ただ今事務局から説明がありましたが、次回の技術会を平成18年5月12日の金曜日、仙台市内で開催することによろしいでしょうか。

(異議なし)

議長： それでは、次回の技術会は平成 18 年 5 月 12 日の金曜日に仙台市内で開催しますので、よろしくお願いたします。

議長： その他、何か、御意見、御質問等はありませんでしょうか。

(なし)

議長： それでは、これで、本日の議事を終了とさせていただきます、議長の職を解かせていただきます。

## 6 閉会

司会： それでは、以上をもちまして、第 101 回女川原子力発電所環境調査測定技術会を終了といたします。

どうも、ありがとうございました。